



# 森と水の源流館 だより

正月 2009年1月 vol.73

電話) 52-0888 fax) 52-0388 (水曜休館)



<川上村の生き物クイズ>

年があけて春が待ち遠しくなります。

はやく声が聞こえてこないかな。

種類がわかった方は森と水の源流館までお越しください。正解者先着5名さまに粗品進呈します。



## けまして おめでとう ございます。

元日は雪景色で、寒いながらも、凜とした清々しいスタートとなりました。

みなさまには、旧年中は大変お世話になりました。

昨年も水源環境や森林環境の学習のお手伝いを通して、たくさんの出会いがありました。

川上村が大切にしてきた自然や文化と、みなさんの応援とご協力があつてこそ

お越しいただく多くのお客様に、感動と気づきをもって帰っていただいていると

感じています。心から感謝申し上げます。

今年も引き続きどうぞよろしくお祈りします。

館長 辻谷 達雄



### 今年は、門スギ！

このお正月も、すっかり恒例となりました「かわかみ七木」の門松を飾りました。

クリスマスツリーで立てたスギ、ヒノキ、コウヤマキ、アカマツ、ツガ、モミ、トガサワラを再利用。

さらに今回の目玉は、なんと、松を杉に替えてしまうという林業の村らしさにこだわりました。この杉は昨年、森林学習で村を訪れた、岐阜県各務原市の中学生たちが間伐体験によって伐り出してくれたものを使用しました。

空へと伸びる“門スギ”に、中学生たちの森、そして地球環境へのまっすぐなおもいを込めました。新聞やテレビなどにも紹介いただきました。

### まだ間に合う！プログラム案内

#### ●2/1(日) もりみず探険隊「御船の滝氷瀑ツアー」

・時間:9:30~15:30 ・参加費:大人 3500(会員 2700)円、小中高生 1700(1000)円 ・定員:40名(先着順)

#### ●企画展「源流の弥生時代」

1/25まで開催しています。

稲作が社会の中心となった弥生時代。稲作が不向きな吉野の山間部ではどんな暮らしがあつたのかを紹介します  
入館料でご覧いただけます。

※会員は源流人会会員価格(当日入会可)

★ボランティアスタッフも募集しています。

詳細は森と水の源流館までお気軽にお問い合わせください。

## 松蔭高校ブルーアースプロジェクトがやってきた

12月20-22日に、今年度で4回目となる神戸の松蔭高校ブルーアースプロジェクトの体験学習に2泊3日で、川上村に来てくれました。初日の水源地の森での体験に続き、2日目は間伐体験、3日目には川上村の人工林ツアーとフィールドをかけめぐりました。

間伐のワークショップには民辻佳子さん（高原出身）、杉本充さん（武木出身）、当館の辻谷館長が指導に当たり、間伐で明るくなった森に感動していました。

森林だけではなくマイバッグやマイカップ、過剰包装をことわる運動など、高校生の彼女たちに学ぶことは非常に大きいです。今後3月の神戸阪急百貨店での発表に向けて、ゴミ問題、地球温暖化問題など様々な環境問題についてフィールドを含めて学び行動していくということで楽しみです。



←講師の指導で人工林を学んだ後、実際に間伐を体験しました。



→水源地の森では森との一体感を感じ、森の良さを実感しました。

## 12/6 出張源流教室 和歌山県立紀伊風土記の丘

和歌山県立紀伊風土記の丘公園に行ってきました。水と森林環境の授業のあとは、川上村の木の小枝を使った干支の工作体験です。大人と子供あわせて20名近い参加者は、使いきれないノコギリや小刀に悪戦苦闘しながらも、今年の干支であるウシの置物を作り上げていきました。工作が終わると川上村のトチモチをみんなで味わいました。



ウシに見えるかな？



おじいちゃんの協力で完成

### ★今月のコケ★ 木村が川上村のコケを紹介します。（連載第28回）

#### ヨツバゴケ

深い森の朽ちた株などでよく見られる茎の長さ1-2cmほどのコケです。何がヨツバナのかというと、胞子体のさくの口にあるさく歯というわれる歯のようなものが4本なのです。

さく歯は乾湿により運動し、胞子散布をコントロールする器官です。4が基本数で種類によって8,16,32,64本と4の倍数のものが知られており、本種は原始的な種と考えられています。

